

食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県民の皆さまが食品について抱く不安の内容やその度合い、また、必要と思われる施策に関する認識を把握し、安全・安心な食生活の確保に必要な施策を推進するための基礎資料とさせていただきます。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター679人（うちインターネットモニター386人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年9月2日～9月28日

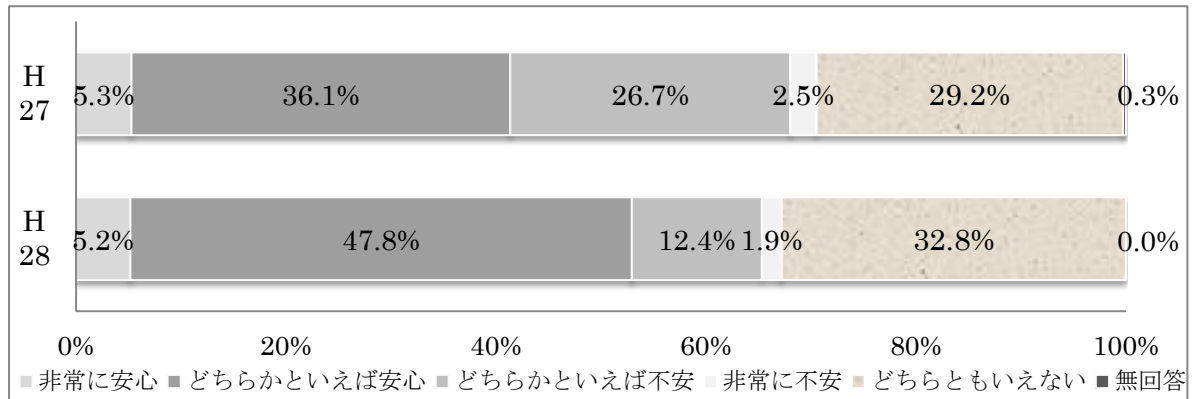
回収結果：580人（回答率85.4%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○食品の安全性について

食品の安全性について、「非常に安心」「どちらかといえば安心」をあわせて53.0%となっており、昨年度の41.4%から約11%増加した。



不安を感じる項目の上位3つは「輸入食品」「食品表示の偽装」「食品添加物」となっている。昨年度同様、約8割の人が不安に思う項目として「輸入食品」と回答している。

○輸入食品の使用について

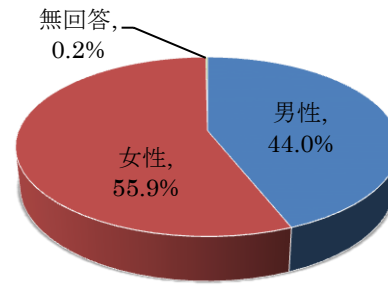
輸入食品を使用する必要性について、「絶対に必要である」「ある程度必要である」をあわせて79.0%となっている。

また、輸入食品について、「非常に安心である」「ある程度安心である」をあわせて22.1%、「少し不安である」「非常に不安である」をあわせて51.9%となっている。不安である理由として、「海外の衛生管理が信用できないから」が最も高くなっている。

4 回答者属性

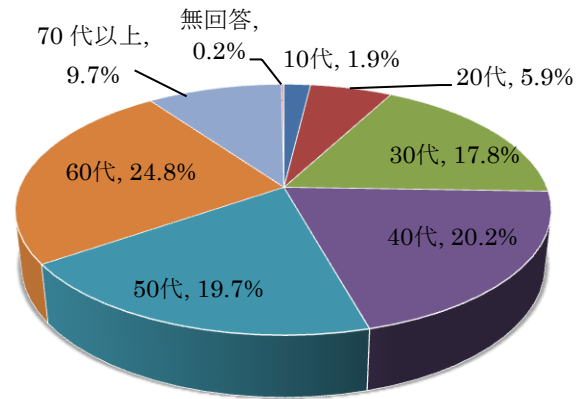
性別

	人数	割合
男性	255	44.0%
女性	324	55.9%
無回答	1	0.2%
合計	580	100.0%



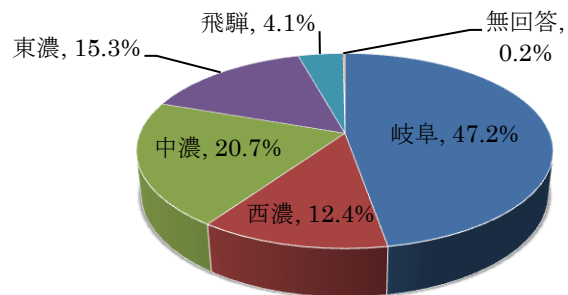
年齢別

	人数	割合
10代	11	1.9%
20代	34	5.9%
30代	103	17.8%
40代	117	20.2%
50代	114	19.7%
60代	144	24.8%
70代以上	56	9.7%
無回答	1	0.2%
合計	580	100.0%



居住圏域別

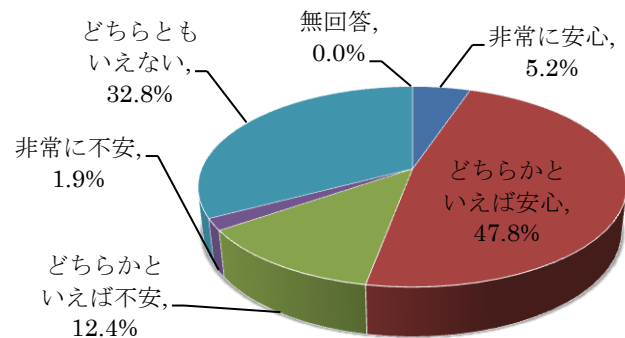
	人数	割合
岐阜	274	47.2%
西濃	72	12.4%
中濃	120	20.7%
東濃	89	15.3%
飛騨	24	4.1%
無回答	1	0.2%
合計	580	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、現在、食品の安全性について、どのように思っていますか。

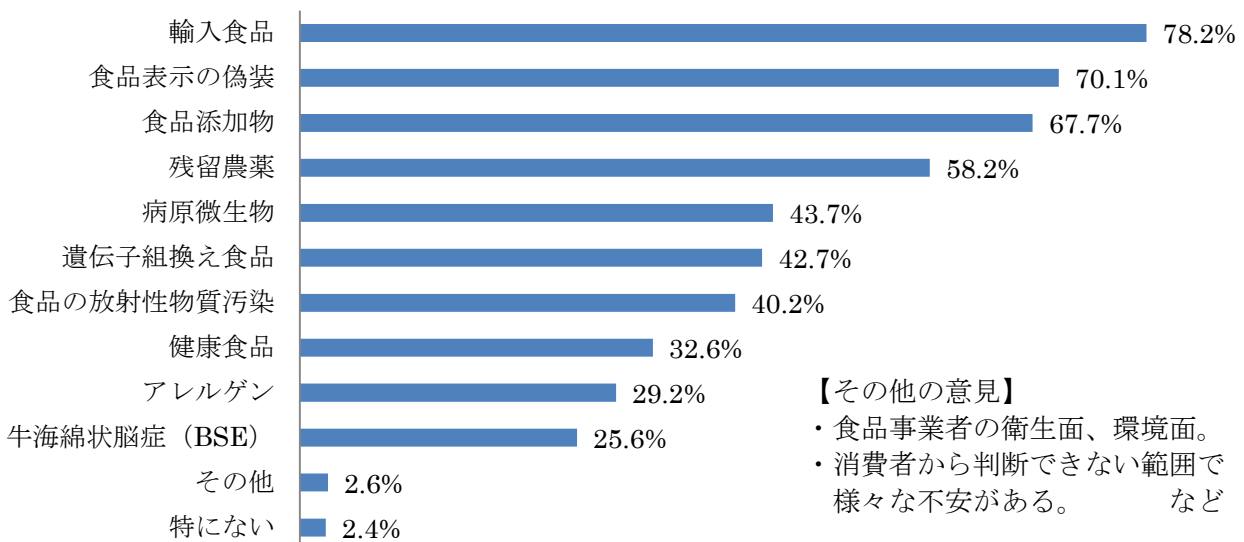
	人数	割合
非常に安心	30	5.2%
どちらかといえば安心	277	47.8%
どちらかといえば不安	72	12.4%
非常に不安	11	1.9%
どちらともいえない	190	32.8%
無回答	0	0.0%
合計	580	100.0%



問2 食品の安全性について、あなたが不安に思う項目はありますか。

(複数回答／回答者579人)

	人数	割合
輸入食品	453	78.2%
食品表示の偽装	406	70.1%
食品添加物	392	67.7%
残留農薬	337	58.2%
病原微生物 (食中毒、鳥インフルエンザなど)	253	43.7%
遺伝子組換え食品	247	42.7%
食品の放射性物質汚染	233	40.2%
健康食品 (成分の安全性・誇大広告などへの不安)	189	32.6%
アレルギー (アレルギー物質)	169	29.2%
牛海綿状脳症 (BSE)	148	25.6%
その他	15	2.6%
特にない (不安を感じていない)	14	2.4%
合計	2856	

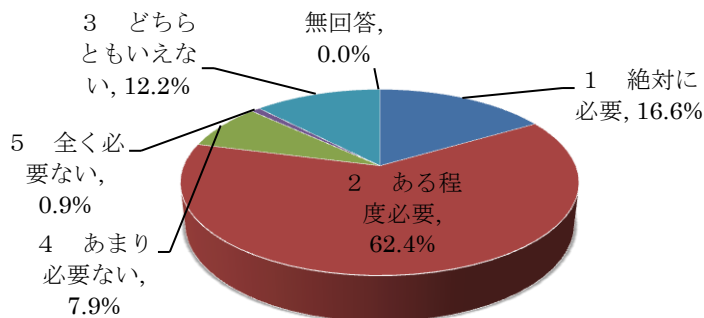


【その他の意見】

- ・食品事業者の衛生面、環境面。
- ・消費者から判断できない範囲で様々な不安がある。 など

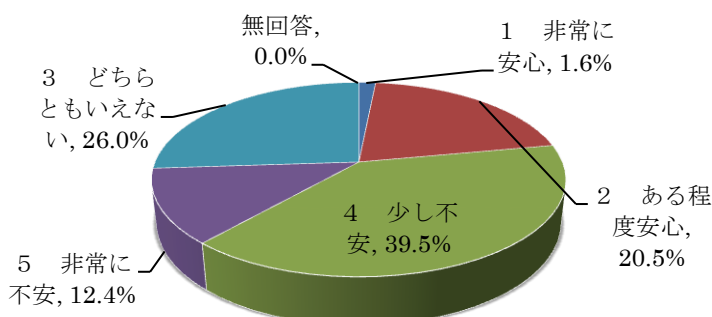
問3 輸入食品の必要性について、どのように思いますか。

	人数	割合
絶対に必要	96	16.6%
ある程度必要	362	62.4%
あまり必要ない	46	7.9%
全く必要ない	5	0.9%
どちらともいえない	71	12.2%
無回答	0	0.0%
合計	580	100.0%



問4 輸入食品の安心感について、どのように思いますか。

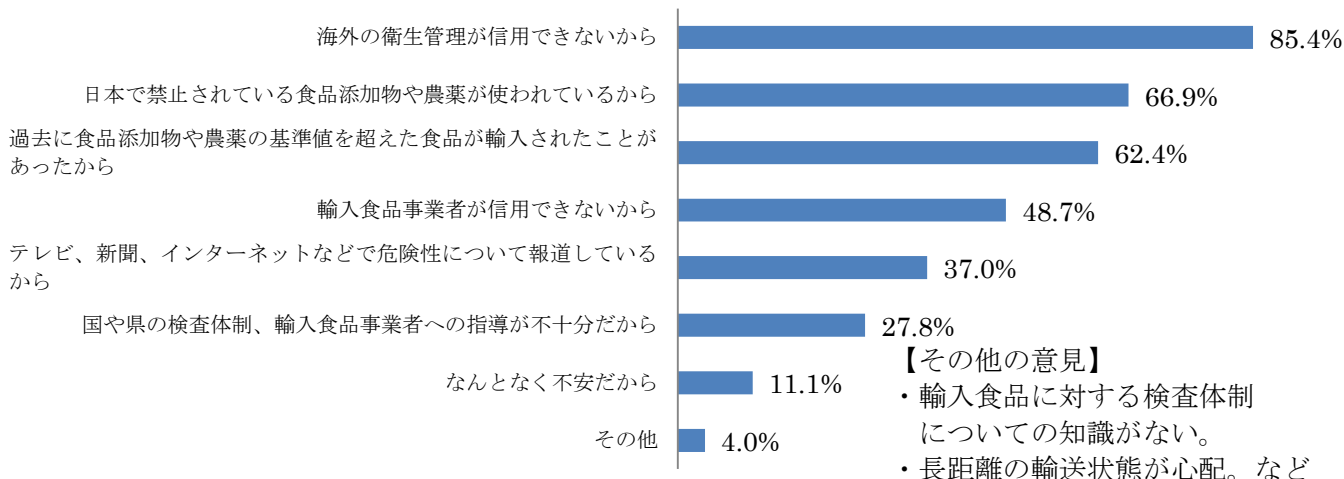
	人数	割合
非常に安心	9	1.6%
ある程度安心	119	20.5%
少し不安	229	39.5%
非常に不安	72	12.4%
どちらともいえない	151	26.0%
無回答	0	0.0%
合計	580	100.0%



問5 (問4で「少し不安」「非常に不安」と答えた方)

輸入食品に不安を感じている理由は何ですか。(複数回答/回答者378人)

	人数	割合
海外の衛生管理が信用できないから	323	85.4%
日本で禁止されている食品添加物や農薬が使われているから	253	66.9%
過去に食品添加物や農薬の基準値を超えた食品が輸入されたことがあったから	236	62.4%
輸入食品事業者が信用できないから	184	48.7%
テレビ、新聞、インターネットなどで危険性について報道しているから	140	37.0%
国や県の検査体制、輸入食品事業者への指導が不十分だから	105	27.8%
なんとなく不安だから	42	11.1%
その他	15	4.0%
合計	1298	



問6 その他、食品の安全性に関する県の施策に対して、ご意見ご感想などございましたら、お聞かせください。（回答者数：132人）

【主なご意見・ご感想】

○県の食品安全施策について

- ・アレルギーや色々な病気で食べられない食品等、もっと幅広く知識や情報をできる機会はないのか。
- ・具体的にどのような取り組みや対応を行われているか知りたい。
- ・食の安全性については、時間を経てその影響が出る場合もあるので、行政においても先進的な情報収集に心がけてほしい。
- ・積極的に広報をしてほしい。数値だけを表示するのではなく、どのような点が安全かなど、具体的に示してほしい。

○行政の検査や監視について

- ・特に検査体制、事業者への指導強化に取り組む施策の充実をしていただきたい。
- ・衛生管理が不十分であることが分かっている国からの輸入について、県独自の基準をもって精査し流通許可を出すことは出来ないのか。
- ・定期的な検査と迅速な情報公開をお願いしたい。
- ・食品表示偽装をはじめ、事件が絶えない今日、スーパー・小売店の抜き打ち検査等を強化すべきだと思う。

○輸入食品について

- ・スーパー小売店等、売り場にて国産の物、輸入物の区別をはっきり区別してほしい。
- ・中国をはじめ東南アジア、発展途上国の食品の衛生管理が心配。
- ・やはりなるべく国産のものを食べたいし、実際そのようにしているが、外食や中食で輸入のものを知らずに食べていると思うと怖い。

○その他

- ・地産地消を進め、岐阜県のブランドとして安心安全を確保してほしい。地元のものなら、すぐ安心する。
- ・月日等、高齢者にもわかりやすくもう少し大きめの字で表示をお願いしたい。
- ・食は基本だと思うので、少しでも何かあると不安。
- ・「消費期限」へのこだわりが強すぎて、安全性に対して過剰な反応が強くなるようで、まだ食べられるものまで捨てられてしまうのは心が痛む。
- ・廃棄食品の横流しが表面化したことによる不安がある。